

# 第1章 調査の概要

# 1. 調査の目的・方法

## 調査目的

渋谷区では、「新しい学校づくり整備方針」に基づき、広尾中学校を建て替え、敷地内に公共図書館を新設する計画を進めています。施設全体の建て替えの基本的な考えを、「広尾中学校建て替え基本計画」（以下基本計画という。）として令和6年3月にまとめました。

本調査は、新設図書館が地域の方に使いやすく、親しまれる図書館となるように実施したものです。特に、図書館づくりの核となる「選書・配架」に焦点を当て、利用者が求めるテーマや読書傾向、学習・調べ物へのニーズなどを整理し、新設図書館における蔵書構成や配架計画の検討に資する基礎資料とすることを目的としました。

## 調査対象・方法

調査にあたっては、ワークショップとアンケートを組み合わせ、多角的な視点からニーズ把握を行いました。

### 【ワークショップ】

ワークショップは一人ひとりの声を聴き、対話から意見を深く伺えるよう、以下の2つを実施しました。

#### 1. インタビューワーク：区民、大学生、障がいのある子どもを対象

あらかじめ選書した本をテーブルに並べ、その中から気になるものを参加者が選択。その後、なぜその本を選んだのかについて、参加者とブックディレクターが対話しながら掘り下げていくという方法です。この方法により、数値化されたアンケート調査だけでは見えにくい、選書へとつながる言語データを収集することを目的としています。

#### 2. コミュニケーションワーク：小学校の児童を対象

児童それぞれが当日着て来た服の色と同じ色紙から、同色の表紙の本を選んだり、好きな本のことばを紹介し合ったりするなど“遊び”の要素を織り交ぜ、普段とは異なるコミュニケーションを通して本にアプローチするという方法です。この方法により、人と本が出会うきっかけを探ることを目的としています。

### 【アンケート】

アンケートは渋谷区民と、隣接小学校児童および広尾中学校の生徒を対象に実施し、各年齢層のニーズの傾向を把握しました。

1. 渋谷区民対象：図書館の利用の有無、本の興味関心に関わらず、幅広い属性の区民を対象とするため、広く周知を行い、選書・配架方法の参考となる意見を得ることを目的としています。
2. 隣接小学校児童・広尾中学校生徒対象：特に子どもからのニーズを把握するため、新設図書館の将来の利用者である児童・生徒を対象とし、選書・配架方法の参考となる意見を得ることを目的としています。
3. 図書館ウェブサイトを通じた調査：新設図書館の整備について、図書館ウェブサイトでの意見を収集しました。

## ワークショップ

手法	対象	実施回数	参加人数	周知
1. インタビューワーク	國學院大學学生	3回	23人	國學院大學図書館連携
	区内在住者	5回	35人	広尾中学校建て替え準備委員会（5月22日）、広尾・加計塚・常磐松小学校 PTA 会長宛て（6月4日）、氷川地区町会定例会（6月6日）、渋谷区ニュース（6月15日号）
	障がいのある子どもと保護者	1回	10人	区内でアート活動をしている NPO 法人 atelier A へ依頼
2. コミュニケーションワーク	常磐松小学校 広尾小学校	2回	54人	学校へ協力を依頼

## アンケート

対象	実施期間	回答件数	周知
1. 渋谷区民対象 （一般アンケート）	令和7年7月15日 ～8月17日 （Forms、LINE、FAX 紙アンケートの3種）	4,597件	以下により URL を周知、インターネット上で回答、一部用紙配布し FAX で回答 氷川地区町会定例会（7月7日）／広尾・加計塚・常磐松小・広尾中学校宛て（7月14日）／氷川地区青少年対策地区委員会会長宛て（7月14日）／しぶや区ニュース（7月15日号）／図書館ウェブサイト（7月15日）／広尾中学校解体周知条例に基づく工事説明会（7月15日）／渋谷区公式 X（7月17日）／渋谷区公式 Facebook（7月17日）／渋谷区ウェブサイト（8月1日）／渋谷区公式 LINE（8月4日配信）
2. 隣接小学校児童・広尾中学校生徒対象（児童・生徒アンケート）	令和7年10月20日 ～11月7日 （一部期間延長）	557件	広尾・加計塚・常磐松小学校、広尾中学校へ依頼
3. 図書館ウェブサイト	令和6年9月9日 ～11月30日	11件	図書館を利用している方がご覧いただく図書館ウェブサイトの新設図書館の計画を掲載しご意見をいただいた

## 2. 調査結果の概要

### 1. 蔵書について

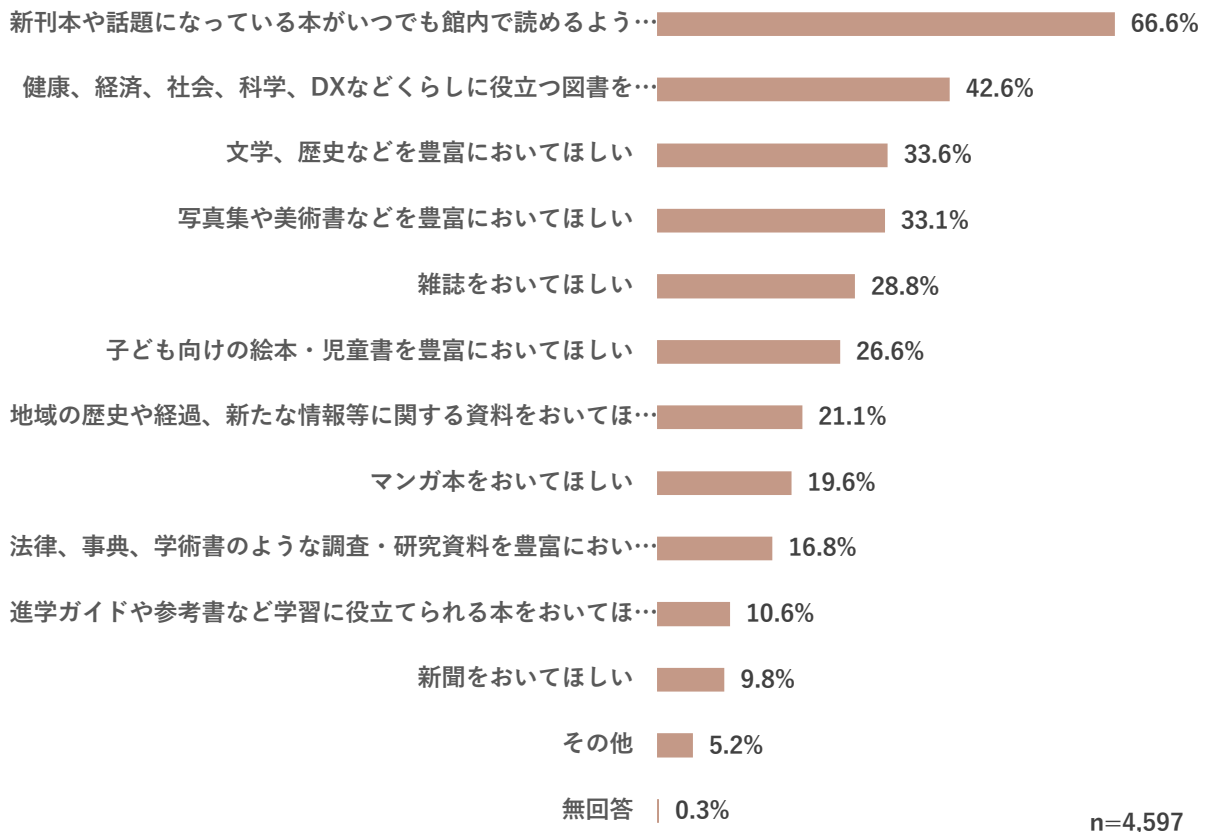
**興味関心の傾向：**蔵書について、全体として新刊本や話題になっている本がいつでも館内で読めるようにおいてほしいが上位となっており、興味関心のあるテーマとしては、旅行・料理・経済・健康などが上位で、若年層は漫画やサブカルチャー、文化・芸能分野に興味を示す特徴が見られました。

**本選びの重視点：**18～69歳は好きなジャンルや著者を重視し、18歳未満はあらすじや試し読み、70歳以上は口コミ評価を重視する傾向が見られました。読書頻度が高い層は好きな著者など普段からの好みを重視し、読書頻度が低い層は学習や資格関連など実用ニーズとの結びつきを重視しています。

### どんな本があると良いか

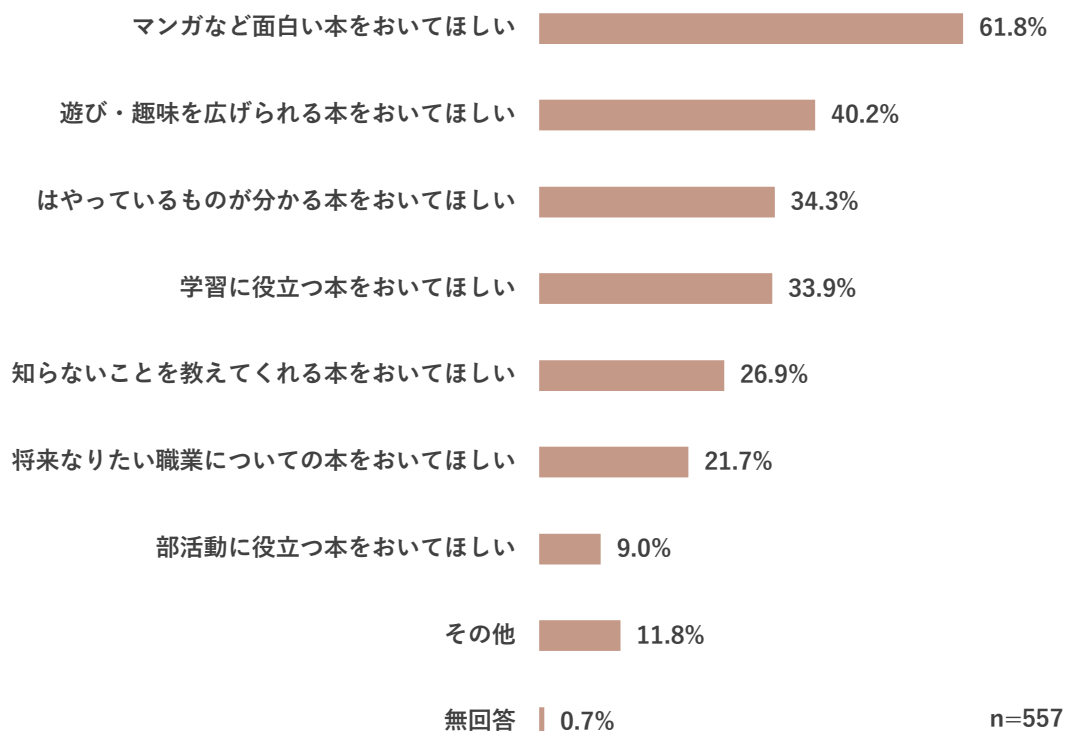
#### 一般アンケート

4. 新設図書館を利用するにあたって、どんな本があると良いですか。3つまでお答えください。



## 児童・生徒アンケート

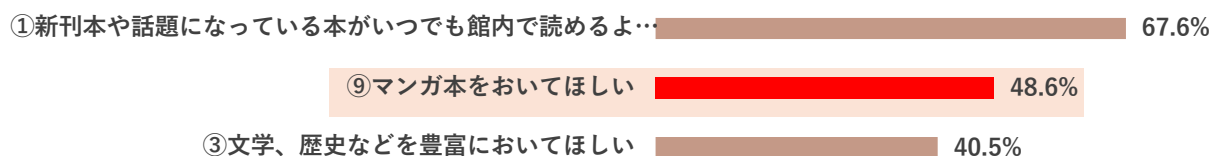
4. 新しい図書館を使うとき、どんな本があると良いですか。3 つまで選んでください。



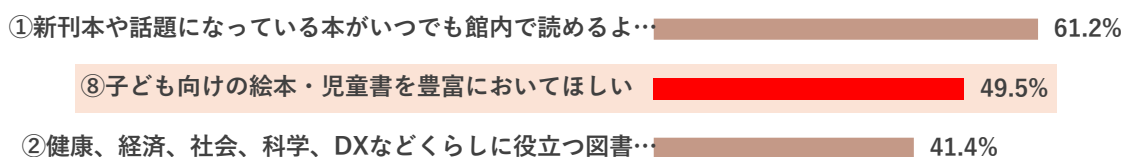
一般アンケートでは、「新刊本や話題になっている本がいつでも館内で読めるようにしてほしい」に次いで、「くらしに役立つ本を幅広くおいてほしい」が上位に入っています。小・中学生では、「マンガなど面白い本をおいてほしい」、次いで「遊び・趣味を広げられる本をおいてほしい」となっています。

## 年代別の特徴

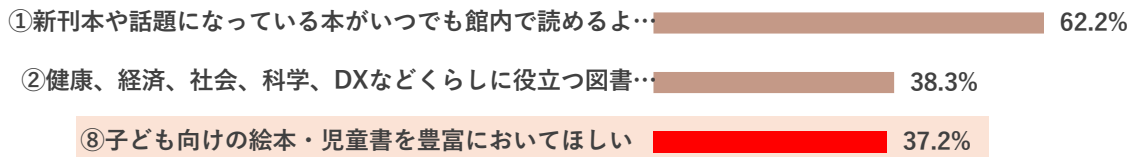
【18歳未満】



【30～39歳】



【40～49 歳】



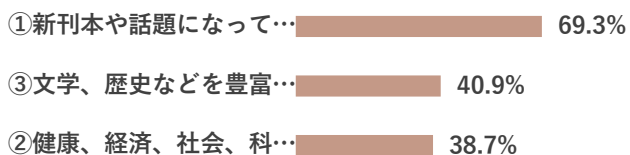
18 歳未満では、「マンガ本をおいてほしい」が 2 番目にあげられました。

30～39 歳では 2 番目に、40～49 歳では 3 番目に「子ども向けの絵本・児童書を豊富においてほしい」があげられました。

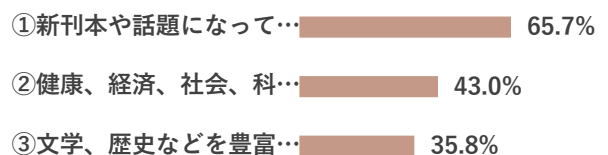
図書館利用頻度別の特徴

利用頻度の高い層

【週に 3～4 回以上利用】



【週に 1～2 回程度】

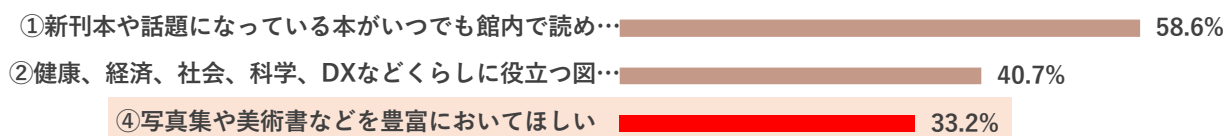


利用頻度の低い層

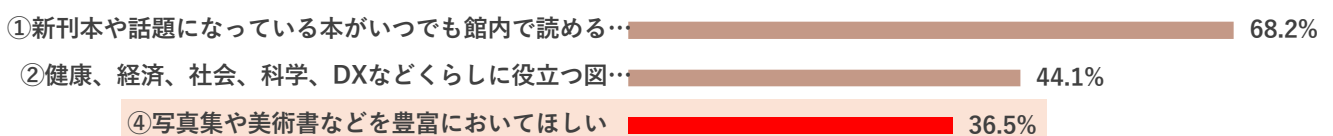
【年に数回程度】



【利用したことがないまたはほとんど利用したことがない】



【ほとんど利用したことがないが、新設図書館ができれば利用したい】

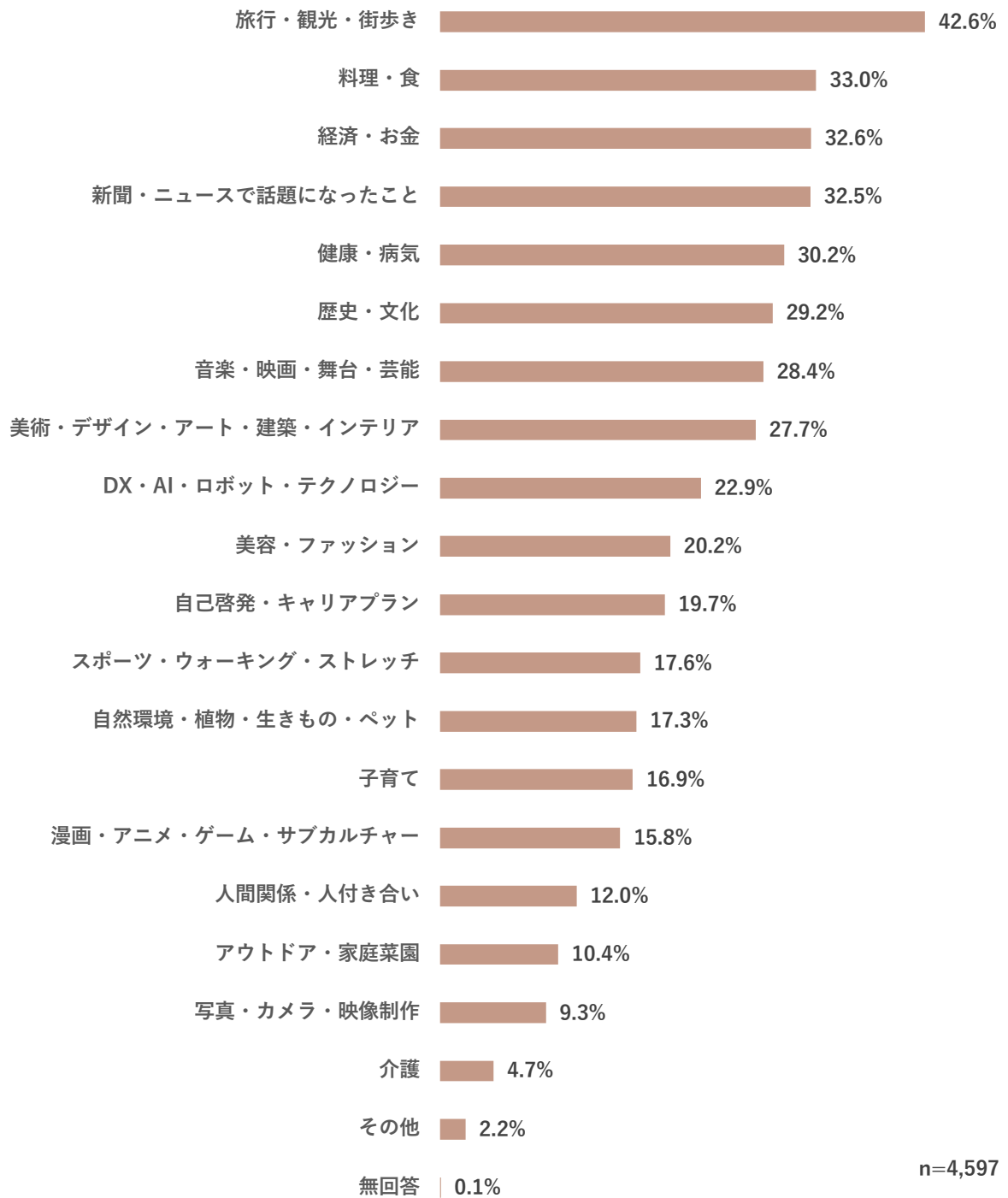


利用頻度の高い層に比べて利用頻度の低い層では、「写真集や美術書などを豊富においてほしい」の割合が高く、上位に入っています。

## 興味のあること、気になっていること

### 一般アンケート

5. 普段の生活の中で興味のあること、気になっていることは何ですか。3つまでお答えください。



## 年代別の特徴

### 【18歳未満】



### 【18～29歳】



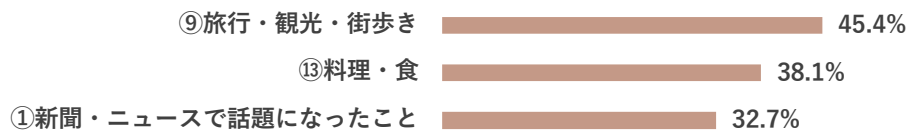
### 【30～39歳】



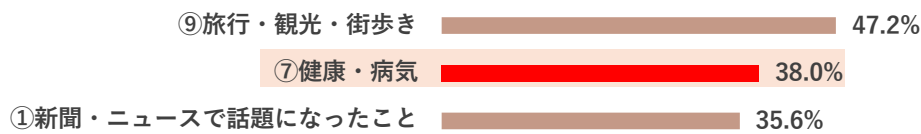
### 【40～49歳】



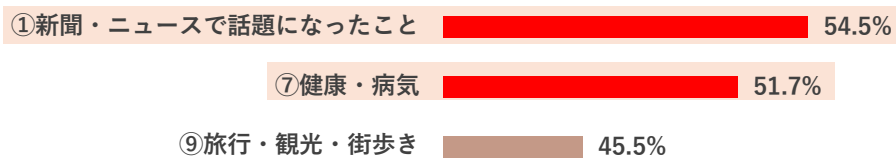
### 【50～59歳】



### 【60～69歳】



### 【70歳以上】



全体としては、「旅行・観光・街歩き」、「料理・食」、「経済・お金」、「新聞・ニュースで話題になったこと」、「健康・病気」が上位でした。

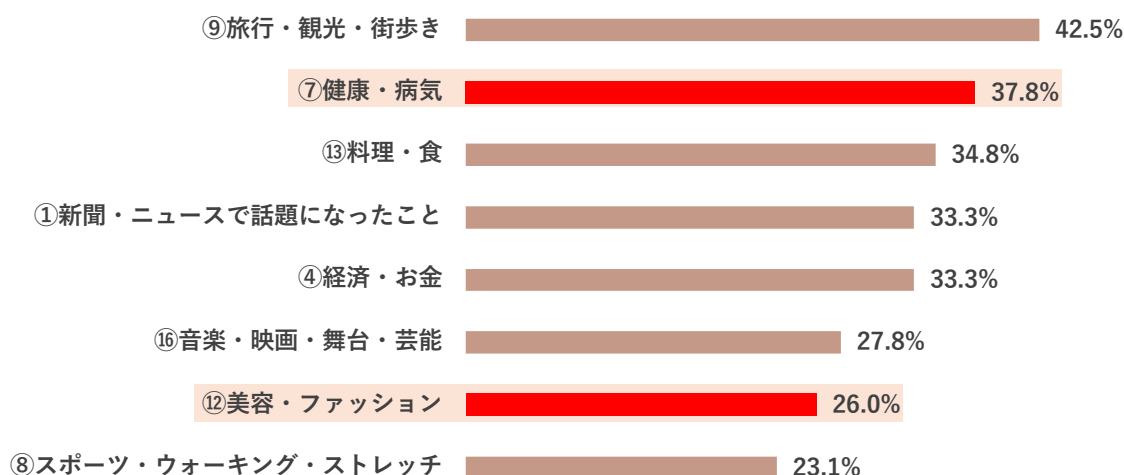
年代別の特徴としては、18歳未満は、「漫画・アニメ・ゲーム・サブカルチャー」「自然環境・植物・生きもの・ペット」が上位に、18歳～29歳では「音楽・映画・舞台・芸能」など文化・芸能分野の割合が高い傾向にあります。30歳～39歳では、「子育て」が上位でした。

### 読書頻度別の特徴

#### 【ほぼ毎日】



#### 【全く読まない・ほとんど読まない】

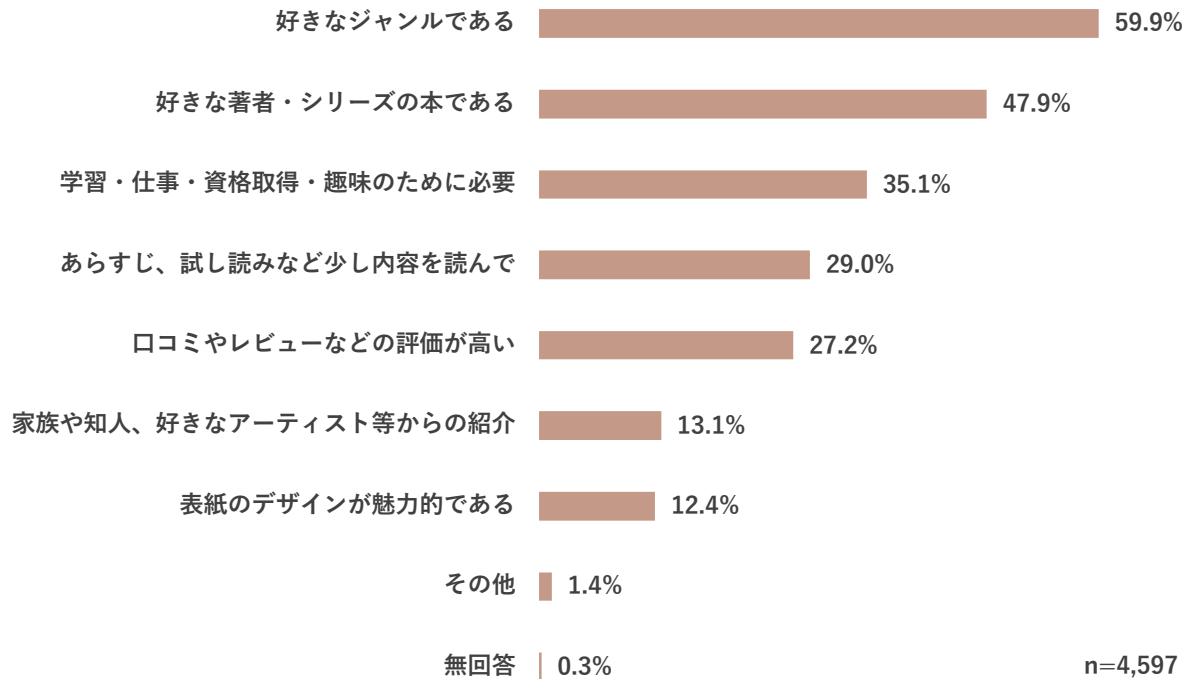


ほぼ毎日読書する層では、「歴史・文化」は最も割合が高く、全く読まない・ほとんど読まない層では、他の読書頻度層と比べて「健康・病気」や「美容・ファッション」など自己管理や身近なテーマの割合が相対的に高いという特徴が見られました。

## 本を選ぶときに重視すること

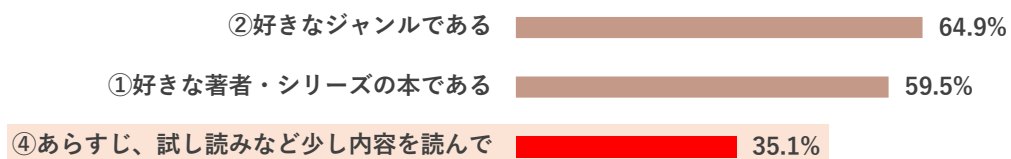
### 一般アンケート

6. 読む本を選ぶ場合に重視する点は何ですか。2つまでお答えください。

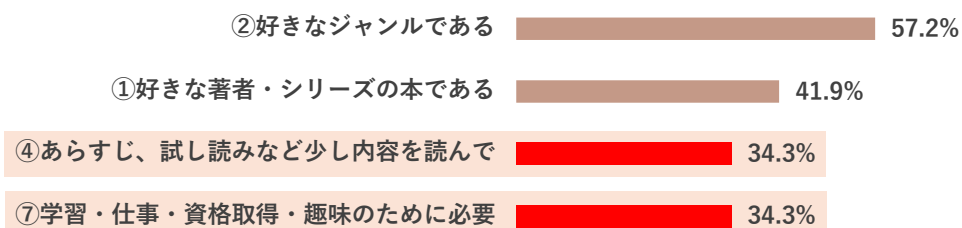


### 年代別の特徴

#### 【18歳未満】



#### 【18～29歳】



## 【70歳以上】



18歳から69歳までは、「好きなジャンル」、「好きな著書・シリーズの本」、「学習・仕事・資格取得・趣味のために必要」が上位となりました。29歳以下では、「あらすじ・試し読みなど少し内容を読んで」が3番目となり、70歳以上では、「口コミやレビューなどの評価が高い」が3番目となりました。

## 読書頻度別の特徴

## 【ほぼ毎日】



## 【全く読まない・ほとんど読まない】

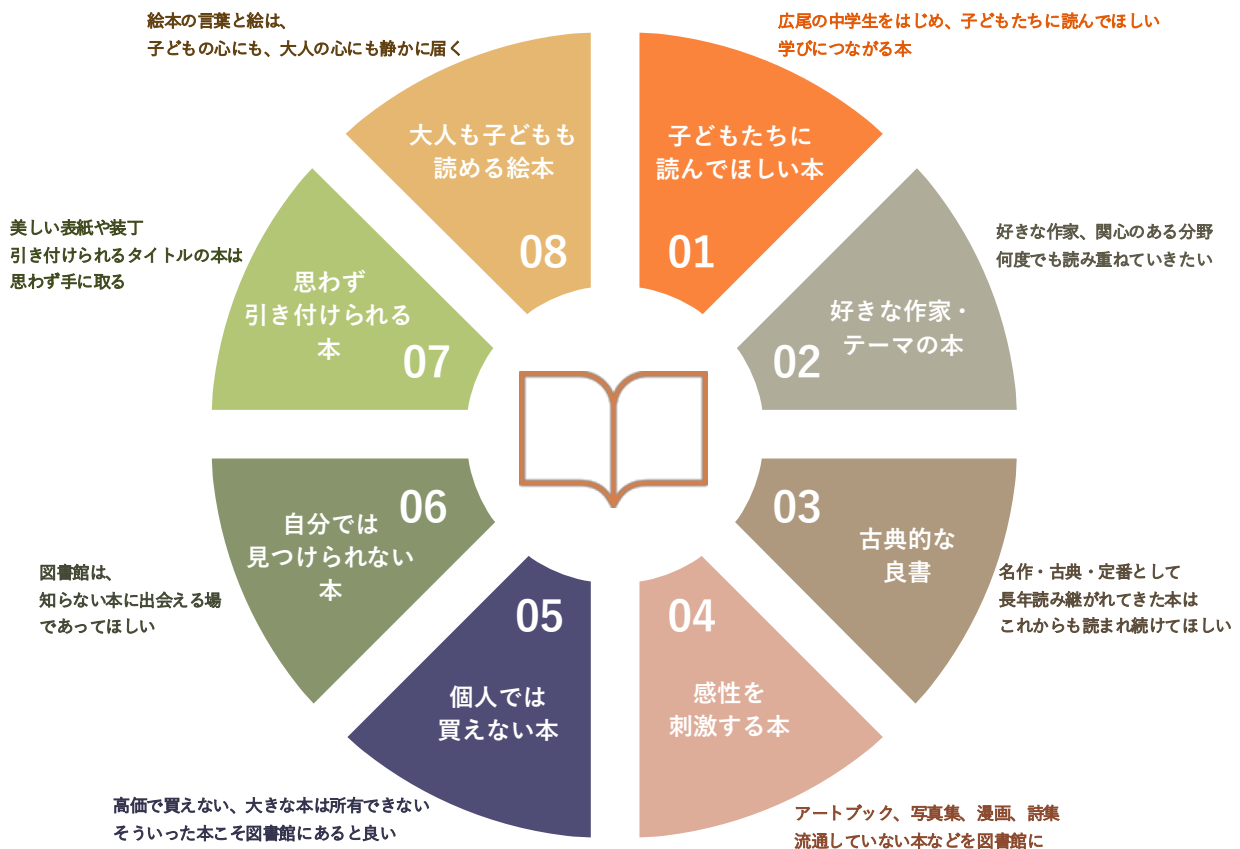


読書頻度が高い層では、「好きな著者・シリーズの本である」の割合が相対的に高く、「全く読まない・ほとんど読まない」層では、他の層に比べて「学習・仕事・資格取得・趣味のために必要」の割合が高いという特徴が見られました。

## ワークショップ

### インタビューワーク

「こんな本が渋谷区の図書館にあったらいいな、を2冊選ぶ」において、本を選ぶときに重視された意見は以下の分類となりました。



- 01: 哲学・歴史・文化・自然・戦争・言語など視野を広げ、学びにつながる幅広いテーマの本を子どもたちに読んでほしい。
- 02: 関心がある分野の本を何度も読み重ねられるように図書館においてほしい。
- 03: 名作、絶版になった本、読み継がれてきた本を保存してほしい。
- 04: アートブック、写真集、漫画、詩集など芸術的・感性的な本に出会いたい。
- 05: 家に置けない大きな本や、高価な本など個人で所有できない本を図書館で読みたい。
- 06: 自分では見つけられない分野や著者、珍しいテーマの本に出会いたい。
- 07: 表紙や装丁、タイトルで思わず本棚から手に取りたくなる本があってほしい。
- 08: 世代を問わず絵本を楽しみたい。

## コミュニケーションワーク（小学生）

児童がどのようにすれば本を魅力的に感じるかを探るため、身につけている色と同じ色の本を探したり、気になる・伝えたい一文を抜き出したりするコミュニケーションワークを行い、以下のきっかけや働きかけがあると効果的であると整理しました。



**01:** 「自分が着ている服の色と同じ色の本を選ぶ」ことで、普段手に取らない本もどんな本なのか興味をもって読み進めていた。

**02:** 「読んだことのある本の中で、気になった一文を紹介し合う」ことで、より深い読書体験が生まれた。

**03:** 01・02 について、その場で紹介し合い、内容や意見を共有することで、人と本とをつなぐきっかけとなった。

※セレンディピティが起こる余白とは、図書館で特定の本を探すだけでなく、棚を眺めながら興味のなかった分野の本と出会うことや、偶然隣に座った人との会話から新しい知識や興味が広がるような状況です。

## 図書館の使い方・配架について

**図書館の利用目的：**全体として、本を探して読みたい、思いがけない本を発見したい、居場所としてゆっくり過ごす場所としたい、などと単に本を受け取る施設ではなく図書館内での利用希望が多く見られました。また、若年層では学習スペースとしての利用、小・中学生では自由に過ごす場所としての利用を希望する声も多数あがりました。

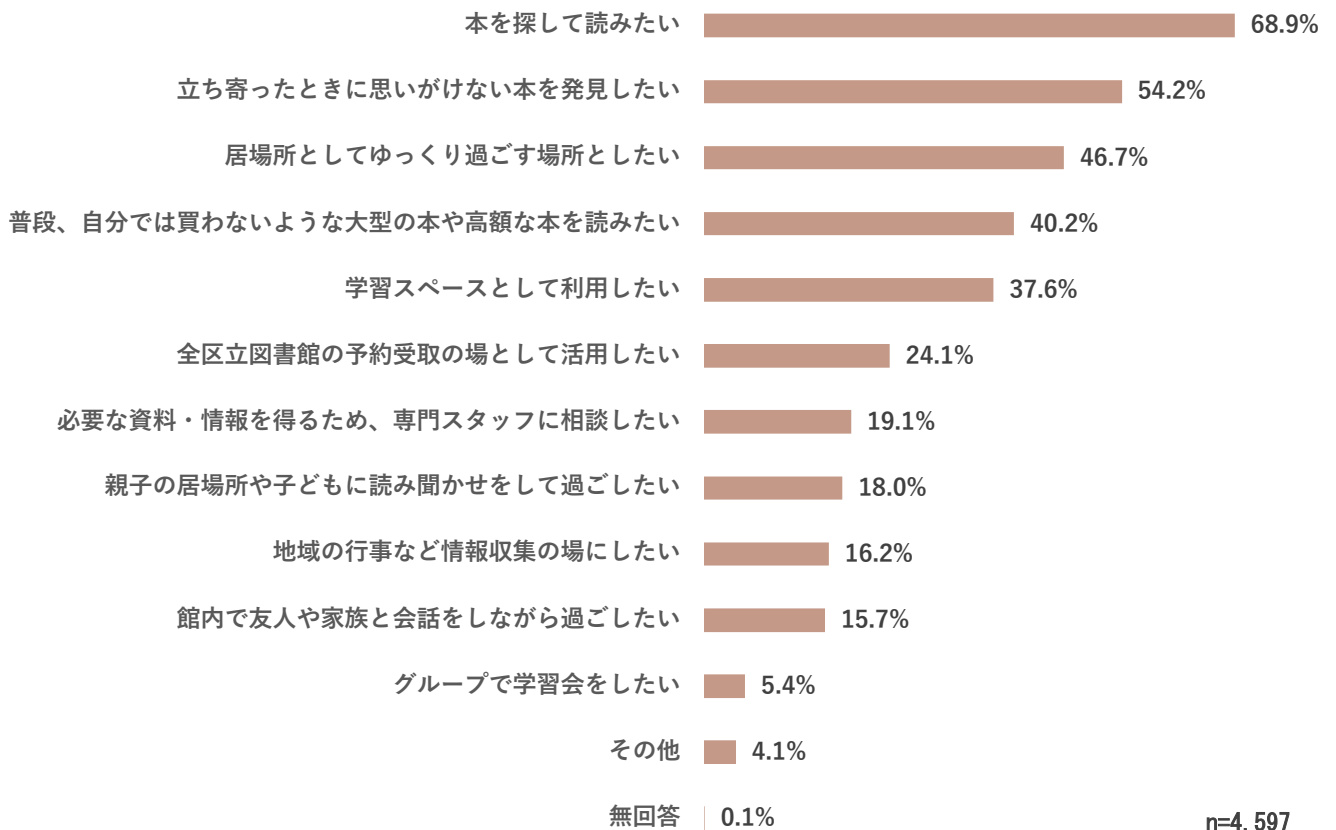
**本の配架方法：**全体として表紙を見て選びたい傾向がありますが、30代以上では渋谷区内の図書館全体の蔵書が確認できるデジタル書架などの利用も多く望まれています。また、70歳以上では背表紙の文字情報の中から本を選びたいが上位でした。

**サービス：**図書館スタッフへの期待として、小学生は本の場所を教えてください、中学生は面白い本やおすすめ本の紹介を望む声が多く見られました。

## 図書館をどのように使いたいか

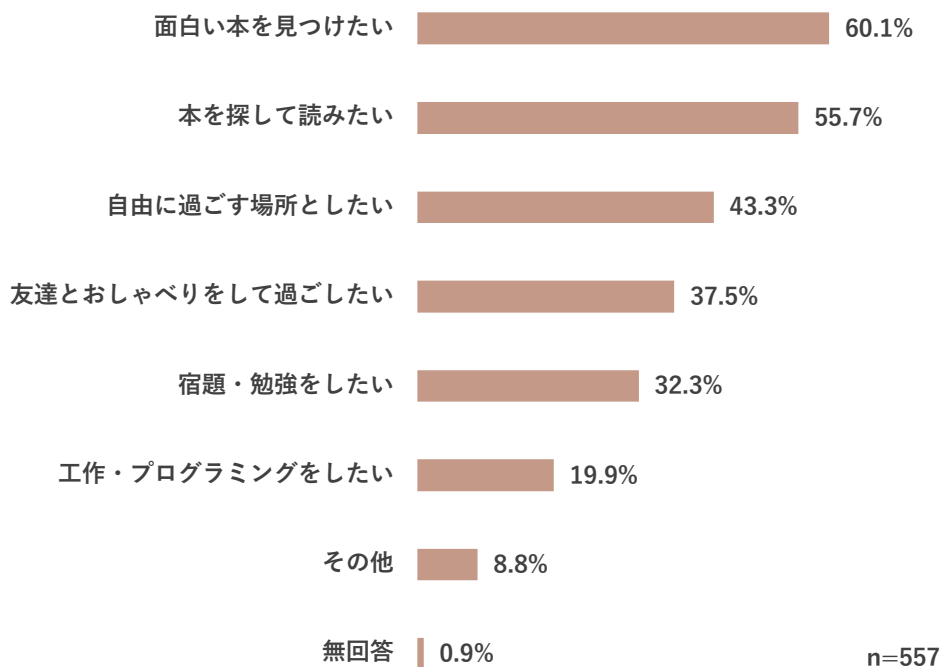
### 一般アンケート

3. 新設図書館ができたなら、どのように使いたいですか。全て選んでください。



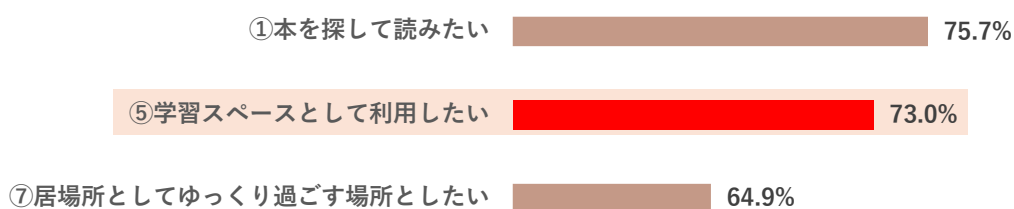
## 児童・生徒アンケート

3. 新しい図書館ができれば、どんなことをしたいですか。いくつでも選んでください。

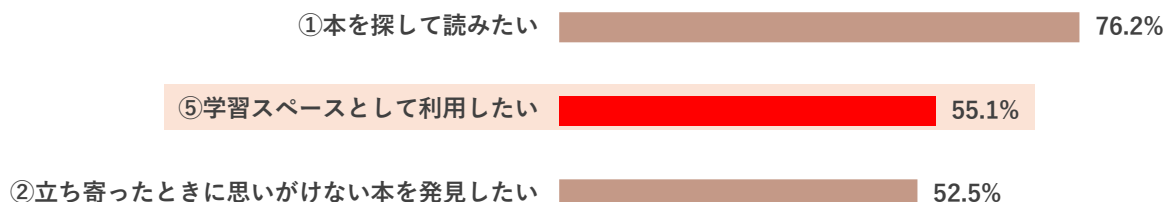


## 年代別の特徴

【18歳未満】



【18～29歳】



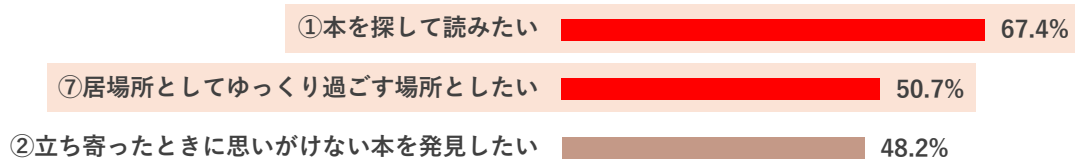
29歳以下では「学習スペースとして利用したい」が他の年代に比べ割合が高いという特徴がありました。

## 図書館利用頻度別の特徴

【利用したことがないまたはほとんど利用したことがない】



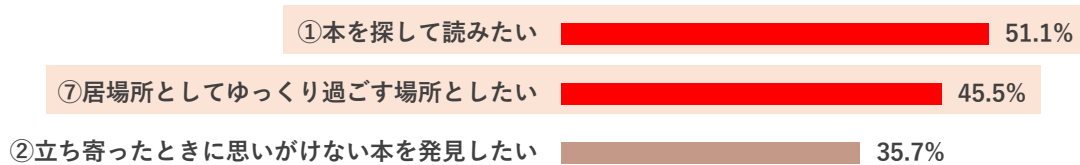
【ほとんど利用したことがないが、新設図書館ができれば利用したい】



利用頻度が低い層では、「本を探して読みたい」が最も割合が高く、2番目に「居場所としてゆっくり過ごす場所としたい」があげられました。

## 読書頻度別の特徴

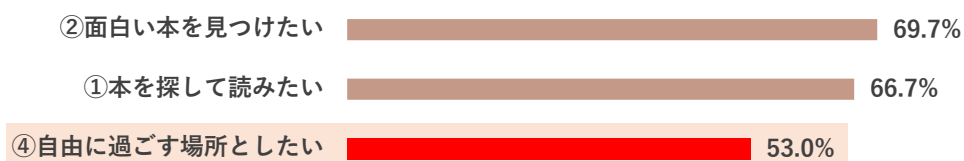
【全く読まない・ほとんど読まない】



全く読まない・ほとんど読まない層では、「本を探して読みたい」が最も割合が高く、2番目に「居場所としてゆっくり過ごす場所としたい」があげられました。

## 学年別の特徴

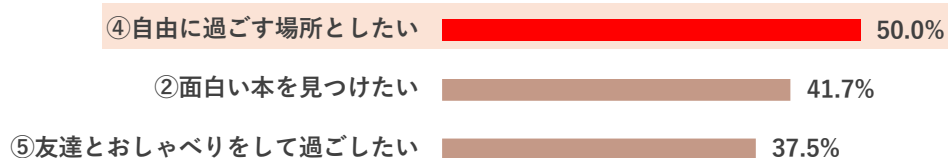
### 【小学4年生】



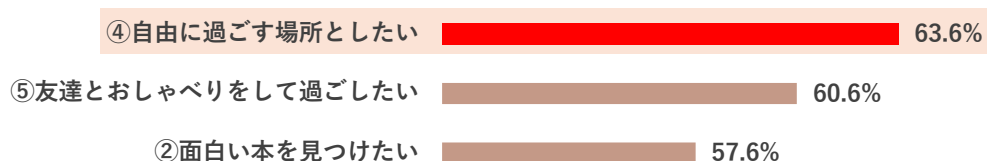
### 【小学6年生】



### 【中学1年生】



### 【中学3年生】

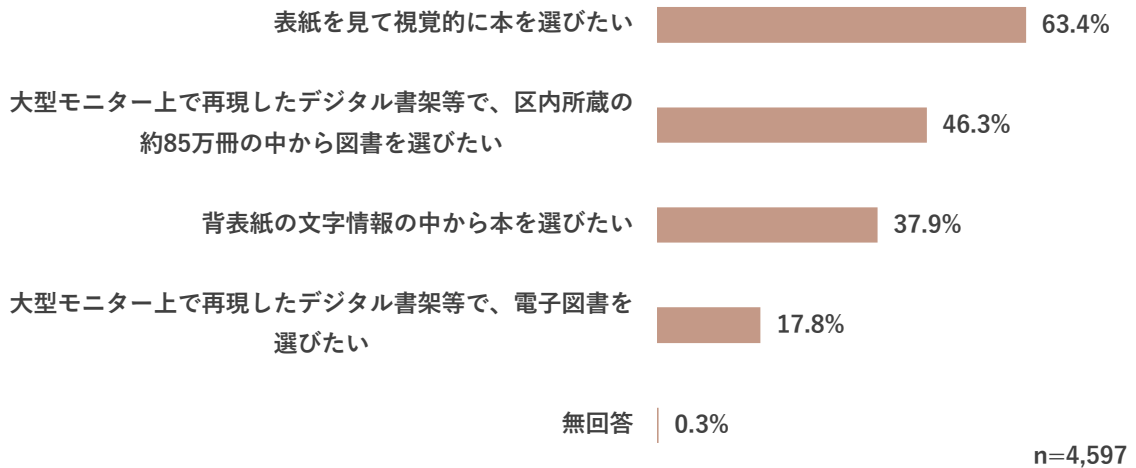


全体では「面白い本を見つけない」が上位ですが、小学6年生、中学1年生、中学3年生では「自由に過ごす場所としたい」が最も多い回答でした。

## 本の配架について

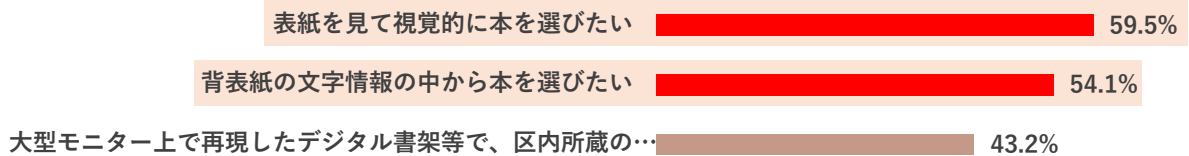
### 一般アンケート

7. 新設図書館では、部分的に配架（本を書棚に並べること）に工夫をこらすことでより多くの方々に来てもらいたいと考えています。下記のうち、本を選びたくなるのはどれですか。2つまでお答えください。

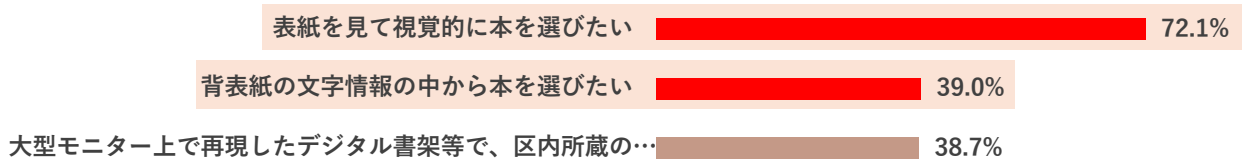


### 年代別の特徴

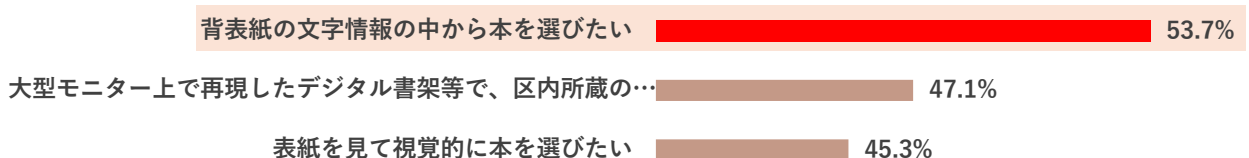
#### 【18歳未満】



#### 【18～29歳】



#### 【70歳以上】



29歳以下では、「表紙を見て視覚的に選びたい」に次いで、「背表紙の文字情報の中から本を選びたい」が高くなっています。対して30歳以上では、「大型モニター上のデジタル書架等で図書を選びたい」が2番目に高い結果となりました。また、70歳以上では、「背表紙の文字情報の中から本を選びたい」が最も高い結果となりました。

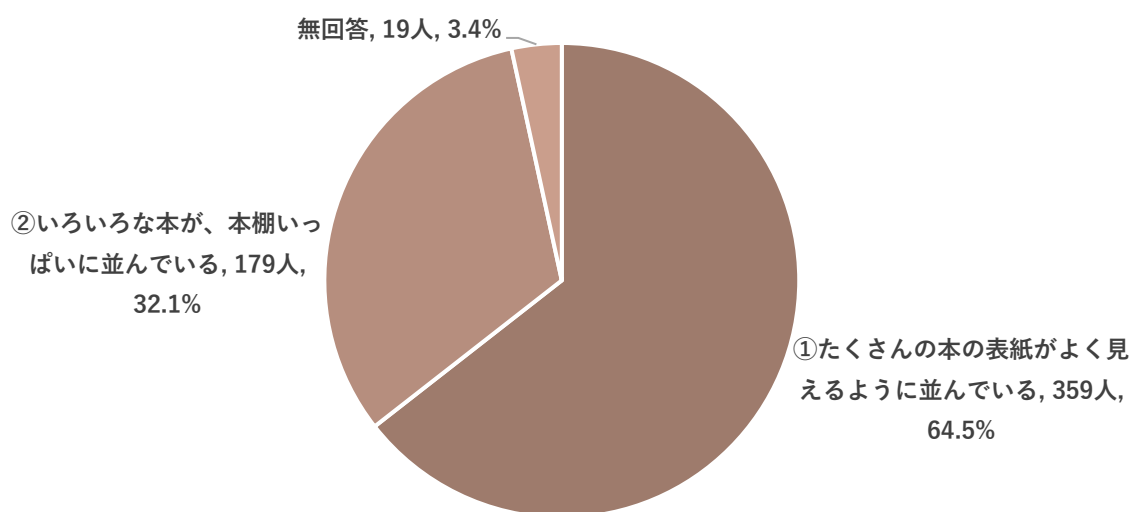
## 図書館利用頻度別の特徴

図書館の利用頻度が高い層と低い層のいずれも、全体の回答と同様の結果となりました。

## 児童・生徒アンケート

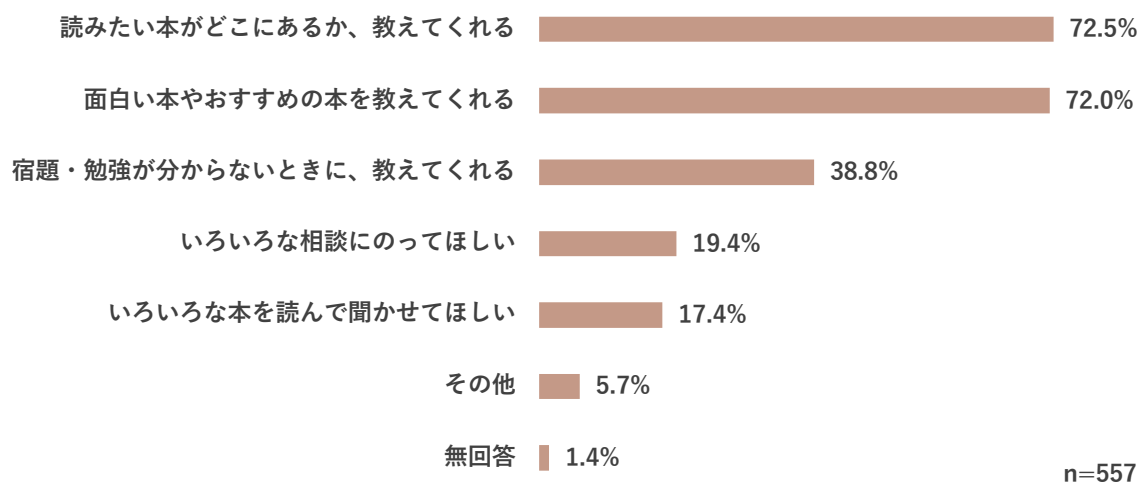
5. 次のうち、本を手に取りたくなるものはどれですか。

① たくさんの本の表紙がよく見えるように並んでいる	② いろいろな本が、本棚いっぱいにならんでいる
 <p>写真/伊東俊介</p>	



小・中学生においても、「たくさんの本の表紙がよく見えるように並んでいる」の割合が高くなっています。

6.新しい図書館のスタッフにどんなことを希望しますか。3つまで選んでください。



小学生では、「読みたい本がどこにあるか、教えてくれる」が上位に入り、中学生では、「面白い本やおすすめの本を教えてくれる」が上位となりました。

## 図書館に期待すること

一般アンケートの新設図書館に並べる本や展示方法について（自由記載）とインタビューワーク、図書館ウェブサイト上の意見フォームで出されたご意見を整理しました。

**図書館への総合的期待：**新刊・話題本の充実、専門書の充実、偶然の出会いが生まれやすい配架や空間づくり、多様な利用者に対応した設備、コミュニティ機能強化、スタッフの専門性向上、情報提供の効率化が求められています。また、利用者同士や世代間の交流イベントも期待されています。

### 配架方法

表紙を見せる配置、テーマで並べるなど、偶然の出会いを楽しみたい

- 従来の分類別配架にとらわれず、テーマ配架や表紙を見せる陳列など、関心が広がる仕掛けを求める声があります。
- 図書館員によるおすすめコメントや企画展示など、利用者の発見を促す工夫を望む意見も多く寄せられています。
- 図書館内を歩く楽しさや本の探しやすさを向上させる配架方法の重要性が強調されています。
- デザイン性を重視するのではなく実用性のある書架・配架にしてほしいという声もあります。

### 蔵書

新刊本・話題本の充実、幅広いジャンル、専門性の高い本などへの期待

- 新刊・話題本の充実を求める声が圧倒的に多く、人気本の貸出待ちの改善や新刊本の迅速な導入への期待が寄せられています。
- 幅広い分野にわたるバランスの取れた選書を求める意見も多く、特定ジャンルや思想への偏り回避が重視されています。
- 美術・哲学・鉄道など、テーマ性のある専門分野の書籍へのニーズも一定数見られました。

### 空間・設備

長時間滞在しやすい雰囲気づくり、多様な利用ができる空間が良い

- 学習スペースや静かな場所・賑やかな場所のゾーニングなど、用途に応じた空間の切り分けへのニーズが強く見られました。
- 飲食可能エリアや子どもがくつろげるスペースなど、多様な利用者が滞在しやすい設備を望む意見も多く寄せられています。
- 短い時間でもアクセス可能な本と家具の配置、座席数の拡充など、快適な読書環境づくりが求められています。

## サービス

図書館は、人と本、人と人がつながるコミュニティの場であってほしい

- スタッフへの相談体制や専門的な知識をもつ人材を求める声が多く、利用者を導くサービスの質が重視されていることがわかりました。
- 予約や受取方法の利便性向上、展示内容のオンライン公開、古い資料のデジタル化など、情報提供の効率化を望む意見が目立ちました。
- 「司書がおすすめ本を紹介してくれる機会が欲しい」「利用者同士・世代間の交流イベントを充実させてほしい」といった声があり、図書館を人と本、人と人がつながるコミュニティの場として捉える傾向が見られました。
- 地域との連携や MLA 連携<sup>\*</sup>を視野に入れてほしいという声もありました。

※MLA 連携とは、博物館（Museum）、図書館（Library）、文書館（Archives）のあいだでおこなわれる種々の連携や協力活動のことです。

## その他

新設図書館への期待や応援の声が多く、「楽しみにしている」「より良い場になることを願う」といった前向きなコメントが中心で見られました。一方で、運営や利用環境に対して“より配慮を求める意見”も見られ、快適性や安全性を損なわない運営への関心が示されています。

こうした期待と配慮の双方を背景に、地域にふさわしい図書館づくりへ丁寧な取り組みを望む声が寄せられています。